

お結び島サポートプロジェクトWGメンバー

所属	役職	氏名
佐渡西地域包括支援センター	社会福祉士	末武 真紀子
佐渡東地域包括支援センター	社会福祉士	菊池 紀子
特別養護老人ホーム やはたの里	生活相談員	本間 功
特別養護老人ホーム 真野の里	生活相談員	川原 由香
介護老人保健施設 すこやか町津	支援相談員	川原 由香
介護老人保健施設 相川愛広苑	介護福祉士	今川 和弘
居宅介護支援事業所 新種愛宕の園	介護支援専門員	中村 和弘
社協アフラフレンズセンター天領	介護支援専門員	久文 麻葉美
相談支援センター そららみ	社会福祉士	佐藤 圭子
相談支援センター そららみ	相談支援専門員	本間 奈美
グループホームおなつち	介護支援専門員	石川 和順
公益社団法人 認知症の人と家族の会 (新潟県支部)	副代表	渡部 雅年
佐渡市社会福祉協議会福祉課	課長	川原 佳代子
佐渡市役所 社会福祉課 総合福祉相談支援センター	課長	佐藤 秀樹
スピンケア つむぎ佐渡 (おだろろ)	精神保健福祉士	塚本 おすか
新潟県厚生連 佐渡総合病院 4西病棟	所長 (介護福祉士)	尾田 拓良
新潟県厚生連 佐渡総合病院 6東病棟	主任看護師	土屋 恵理
新潟県厚生連 佐渡総合病院	主任看護師	土屋 恵理
新潟県厚生連 佐渡総合病院	社会福祉士	城家 香織
新潟県厚生連 佐渡総合病院	精神保健福祉士	稲妻 寛子
佐渡市立向津病院	看護師	田村 英子
佐渡市立向津病院	看護師	石塚 由紀子
佐渡市役所 高齢福祉課	課長	神田 麻衣子
オナザンバー 法テラス佐渡	代表常勤弁護士	伊東 憲二
オナザンバー 法テラス佐渡	常勤弁護士	林 大樹
オナザンバー 身寄り無し問題研究会	代表	須貝 秀昭

お結び島サポートプロジェクトメンバー

所属	役職	氏名
社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会	一般社団法人 佐渡医師会	公益社団法人 新潟県看護協会
新潟県厚生農業協同組合連合会	社会福祉法人 佐渡福祉会	佐渡薬利師会
一般社団法人 佐渡国仲福祉会	社会福祉法人 佐渡国仲福祉会	医療法人 愛広会
ささき愛コミュニティ生活協同組合新潟	社会福祉法人 佐渡寿福祉会	医療法人 おけさ会
社会福祉法人 佐渡ふれあい福祉会	社会福祉法人 じつぽ福祉会	株式会社 R&M
社会福祉法人 佐渡前浜福祉会	社会福祉法人 とき福祉会	株式会社 ツクイ
社会福祉法人 しあわせ福祉会	株式会社 クローバー—佐渡	(株) ビジナル ビジョン
公益社団法人 鼓童文化財団	相談支援センター そららみ	合同会社 mio
法テラス佐渡	株式会社 SPIN	合同会社 和

順不同

お結び島サポートプロジェクト事務局

一般社団法人 佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会「しまみらい」
 〒952-1209 新潟県佐渡市千種 1 6 1 佐渡総合病院内
 TEL 0259-63-6376 E_mail sadohimawariner@sado-hp.jp

「身寄りなしガイドライン」策定・実践プロジェクト

お結び島サポート プロジェクト



安心をデザインする

「身寄りなしガイドライン」策定 実践プロジェクト

お結び島サポート

プロジェクト



お結び島サポートプロジェクトとは

高齢化の進行に伴い増加している単身高齢者のうち、身元保証人や意思決定支援者がいない市民（いわゆる「身寄りなし」）への対応が、医療・介護・福祉の現場および地域社会における重要な課題となっている現状を踏まえ、関係機関が連携して支援にあたるための仕組みづくりを進める取り組みです。

本プロジェクトは、市民の尊厳を守りつつ、必要な支援が円滑かつ継続的に提供されることを目指し、その実現に向けた共通の指針となる「ガイドライン」を策定し実践することを目的としています。

1. 推進体制

課題はオール佐渡で取り組むべきものであり、その実現に向けて、意思決定と実務実行を分離・連携させた二層構造の推進体制を構築します。

(1) プロジェクトチーム (PT)

役割：関係機関が当事者として参画し、プロジェクト全体の方針を共に形づくり、広域的な連携と調整を担います。

構成：医療機関、介護施設、障がい者支援施設、行政、市民団体に加え、弁護士・司法書士等の外部専門家で構成します。

(2) ワーキンググループ (WG)

役割：現場の課題を吸い上げ、具体的なルールを起草する「実務の心臓部」を担います。

構成：関係部署と外部専門家のコアメンバーで構成します。

2. ガイドラインの骨子 (案)

策定を目指すガイドラインに盛り込む主要な論点は、以下のとおりです。

(1) 基本原則：本人意思の尊重、尊厳の保持、包括的支援の理念

(2) 定義と支援対象：「身寄りなし」の定義、支援が必要な段階（平時、緊急時、終末期）

(3) 各場面の対応フロー

平時の支援：成年後見制度、任意後見契約、死後事務委任契約等への接続支援
医療・介護場面：入院・入所時の手続き、医療同意、緊急連絡先の対応方法

終末期：意思決定支援 ACP、実施方法

死後の対応：葬送、遺品整理、残存財産整理の円滑化に向けた手続き等

3. 策定スケジュール (案)

令和8年度中のガイドライン策定を目指し、以下のフェーズで進めます

1. キックオフイベント

目的：プロジェクトの正式発足と、関係機関の共通理解の形成

主な内容：プロジェクトの趣旨・体制・スケジュールの共有・佐渡市の現状および国内動向に関する講演・ワーキンググループ (WG) メンバーの任命

2. 課題詳細化と原案作成

目的：現場課題の整理と、ガイドライン原案の作成

主な内容：課題の詳細化、策定骨子に基づくガイドライン原案の作成
専門家（法曹、医療・介護等）からの意見聴取

3. PT 承認・公開

目的：ガイドラインの確定と、関係機関への周知・実装

主な内容：最終案の確定 (PT による承認) 関係機関への周知・ガイドラインの公開および実践開始・推進会議の設置

キックオフイベント次第

開会 14:00

1. 開会のあいさつ (14:00～14:05)

佐渡市社会福祉部 部長 吉川 明

2. プロジェクト説明 (14:05～14:25)

しまみらい事務局 長 稲辺 茂樹

3. ワーキンググループメンバー紹介 (14:25～14:35)

4. 休憩 (14:35～14:40)

5. 記念講演 (14:40～15:40)

演題：「身寄りなし問題に挑む」

身寄りなし問題研究会代表 須員 秀昭 様

6. 開会のあいさつ (15:40～15:45)

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会
理事長 塚本 寿一

閉会 15:45